

- A. 日時 2011 年 11 月 8 日 (火) 17:00~19:00  
B. 場所 建築会館会議室  
C. 出席 主査：羽山広文、幹事：柳井崇、郡公子、委員：赤司泰義、(秋元孝之)、石川幸雄、石野久彌、(猪岡達夫)、(宇田川光弘)、(岡建雄)、(川瀬貴晴)、古賀誉章、(小林陽一)、(坂上恭助)、佐野武仁、清水昭浩、(高井啓明)、(高草智)、千葉隆文、(仲野章生)、(中野淳太)、二宮秀與代理：木下泰斗、(野部達夫)、(本間睦朗)、(吉田治典)  
( )付きは欠席、敬称略・順不同

D. 配付資料

- 資料 No.5-1 2011 年度第 5 回建築設備運営委員会議事次第  
資料 No.5-2 2011 年度第 4 回建築設備運営委員会議事録案  
資料 No.5-3-1-1 第 2 回環境工学本委員会報告 (9/22)  
資料 No.5-3-1-2 第 3 回環境工学本委員会議題 (11/8)  
資料 No.5-3-2 2012 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類  
資料 No.5-4-1 環境設備に関する学会規準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会議事録 (第 3 回)  
資料 No.5-4-4 次世代排水システム小委員会 第 15 回議事録  
資料 No.5-4-5 第 5 回環境建築設計法小委員会議事録  
資料 No.5-4-7 見る・使う・学ぶ 環境建築シンポジウム報告  
資料 No.5-5-1 第 7 回建築設備シンポジウム報告  
資料 No.5-5-2 第 7 回建築設備シンポジウム アンケート集計結果

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され承認された (資料 No.5-2)。
2. 環境工学本委員会の報告がされた。
  - 1) 第 2 回委員会の内容が報告された (資料 No.5-3-1、郡幹事)
    - ・教育賞 (教育業績) 候補推薦について、設備運営委、音環境運営委から候補の推薦があり、審議の結果、昨年度推薦した経緯から今年度も安岡正人東京理科大教授を推薦することになった。
    - ・来年度大会オーガナイズドセッションテーマとして、建築設備運営委員会から提案したものも含め 3 件が了承された。
    - ・来年度大会研究協議会、懇談会のテーマなどについて審議された。
  - 2) 第 3 回委員会の内容が報告された (資料 No.5-3-1-2、羽山主査)
    - ・シンポジウム「東日本大震災からの教訓、これからの新しい国づくり」が 3/1~2 に開催される。一般講演の応募期限は 1/10 である。
    - ・大賞、文化賞の候補業績の推薦を受付中である。
    - ・来年度大会の研究協議会は、「エネルギーとライフスタイルのあり方」をテーマとし、電力供給、省エネ技術、自然エネルギー、心理的視点、教育的視点などに関して講演者を選ぶ。
    - ・来年度大会の研究懇談会は、早大田辺教授が中心にまとめ、建築設備、熱環境、空気環境運営委員会が協力する。内容は具体的な事例紹介とし、設備の場合は、この夏をどう乗り切ったかを紹介できる方に講演をお願いできるとよい。
    - ・細分類について、湿気分野から大きな改訂要望があったが、今回は変更しないことになった。
    - ・小委員会や WG の期間満了後、新規設置する場合に旧委員会名称の使用が可能か審議され、今回は使用が認められた。今後、上層委員会で協議される予定である。
    - ・委員会予算執行を計画的に進める。年度内に使い切れない場合次年度の当初配分が減額される。
    - ・出版委員会を立ち上げ、売れる本を企画するとよい。
3. 2012 年度委員会活動計画案などについて、確認された (資料 No.5-3-2)。

- ・建築設備運営委員会の活動計画案などが確認された。
- ・環境設備に関する学会基準（AIJES）における性能レベル検討小委員会の活動計画案、ソーラー建築情報WG設置申請書などが確認された。
- ・環境選択型空調設計小委員会の活動計画案などが確認された。
- ・気象データ小委員会の活動計画案などが確認された。
- ・環境設計法小委員会の活動計画案などが確認された。
- ・次世代排水システム小委員会、次世代排水システム適用WG、機械排水設計WG、サイホン排水設計WGの廃止申請書、次世代排水システム小委員会、次世代排水システム建築適用WG、機械排水システムWG、サイホン排水システムWGの設置申請書、小委員会活動計画案などが確認された。今後、次世代排水システム小委員会の名称を変更する可能性もある。
- ・ガラス建築快適環境WGの活動計画案が確認された。
- ・会員外の委員はできるだけ入会して頂くのがよい。

#### 4. 小委員会の活動報告がされた。

##### 1)環境設備に関する学会基準（AIJES）における性能レベル検討小委員会（資料No.5-4-1、石川小委員会主査）

次年度活動計画について審議した。見学会を企画中である。性能項目の検討を見直し、今年度中にスタイルを決める予定である。

##### 2)環境選択型空調設計小委員会

活動報告はなし。12/16のシンポジウム開催について、ホームページに掲載する手配をした。

##### 3) 気象データ小委員会（木下委員）

委員会開催は12/17の予定で、特に報告事項はない。

##### 4) 次世代排水システム小委員会（資料No.5-4-4、古賀委員）

次年度活動計画について審議した。次世代排水システムの基準の枠組みづくりを進めている。次年度以降、自立排水をひとつのテーマとして扱う案も検討されている。

##### 5) 環境建築設計法小委員会（資料No.5-4-5、羽山主査）

飯野ビルの見学を行った。次年度OS、環境建築シンポ、建築設備シンポについて審議した。

##### 6)ガラス建築快適環境WG

ガラス建築の快適環境と健康について扱う書籍を出版したい。

##### 7) 「建築一体化設備のデザイン」出版小委員会（資料No.5-4-7、石野小委主査）

9/21に、見る・使う・学ぶ環境建築シンポジウムを開催した。約200名の参加申し込みがあったが、台風のため実際の参加者は158名となった。

#### 5. 建築設備シンポジウムについて

##### 1)第7回建築設備シンポジウムの報告がされた（資料No.5-5-1、羽山主査）

10/20に開催され、参加者242名で大盛況だった。会員外の参加が多く、大学関係者の参加がやや少なかった。

##### 2)参加者アンケートの集計結果が報告された（資料No.5-5-2、郡幹事）

71名の回答を得た。意匠設計者の視点が興味深いという感想や、来年度以降のテーマとして環境建築・最新技術、震災対策・節電、スマートグリッド、ZEBなどの希望があった。発表時間の延長、資料のカラー化・文字の鮮明化、机・椅子に関する要望もあった。

##### 3)来年度第8回建築設備シンポジウム企画について審議された。

来年5月にはシンポジウム素案が決まるとよい。開催日程案を決めた（その後、10/19(金)に決定）

#### 8. 次回予定 2012年3月10日(土) 14:00～ 於：九州大学

(文責：郡)